

# 令和7年3月に発生した県立総合療育センター入所児童の死亡事故を検証する 医療事故調査委員会（第1回）の概要

鳥取県子ども家庭部子ども発達支援課

- 1 日時 令和7年7月4日（金） 午後7時から午後8時40分まで
- 2 場所 県立総合療育センター（米子市上福原7丁目13-3）
- 3 出席者 県立総合療育センター医療事故調査委員会（全員出席）
  - 外部委員 大澤 晋委員（岡山大学病院医療安全管理部准教授）  
松岡真弓委員（鳥取県看護協会教育部次長）  
浜田真樹委員（弁護士、日弁連子ども権利委員会事務局長）
  - 内部委員 佐竹隆宏委員（医務部部长）、足立裕季子委員（看護部部长）事務局  
子ども家庭部 中西朱実部長、柴田智幸子子ども発達支援課長  
総合療育センター 小枝達也院長、住友正人事務部長

## 4 議事概要

### （議題1）委員長の選任について

- ・互選により、大澤晋委員が委員長に選出された。

### （議題2）会議及び会議結果の公開、非公開について

- ・議題3に個人情報が含まれるため、議題3以降の会議は非公開とすることを決定した。

### （議題3）令和7年3月に発生した県立総合療育センター入所児童の死亡事故の検証について

- ・事務局から資料に基づき説明後、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・委員長から、次回以降、各論点を整理して検証していく旨の方針が示された。

### 【委員からの主な意見】

#### ○本事案の概要等について

- ・児童の発言に基づいて、医療従事者が対応内容を決定している場面（頭は打っていないという児童の発言に基づき、頭部のCTを撮影しない。傍にいないで大丈夫という発言に基づき、付き添わない。など）があるが、医療従事者として問題なかったのか。
- ・当初「明らかな骨折なし」としていたが、CT画像を3Dに変換された画像を確認した結果、骨折が疑われる像が見ついている。診断上の見落としがなかったのか検討が必要である。
- ・SpO<sub>2</sub>（血中酸素飽和度）等のモニターだけでなく、心電図モニターを装着するという判断はしなかったのか。
- ・病院や児童福祉施設として求められる看護師の配置基準の充足状況や勤務体系等に関する客観的データを示してほしい。
- ・保護者への連絡先やタイミングが適切だったのか、職員に連絡先等がどの程度周知されていたのか検討が必要である。

#### ○看護職員へのヒアリング調査の実施について

- ・別途、看護職員（40人程度）を対象にしたアンケートを予定しているからかもしれないが、ヒアリング対象者数の設定（10人程度）が適切かどうか、統計学的な観点も含めた検討が必要である。
- ・個人の責任を追及するものではないという委員会の目的を踏まえて、ヒアリング項目を検討する必要がある。
- ・事故当日、看護部長が事故に関係した看護職員に対するヒアリングを実施していることから、今回のヒアリングは、その結果を踏まえて実施する必要がある。

#### ○看護職員へのアンケート調査の実施について

- ・マニュアルがあったとしても、理解と納得がなければ職員の行動変容につながらないことから、マニュアルの形骸化等の状況についても、アンケート項目に入れることが必要である。
- ・アンケートは、匿名を希望しない職員もいるかもしれないので、希望に応じた対応ができるよう見直しが必要である。

### （その他）

- ・次回は、8月13日（水）午後1時30分から開催することを決定した。